

特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年6月17日（月曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義弘

1 単元 リズムとなかよし

2 指導計画（8時間完了）

時数	1	2	3	4	5	6	7	8
以下の学習内容を、1チャンク10分程度、1パート5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャンクまで）								
チャンクの内容	速度に合わせた表現	楽曲の気分をとらえた表現	楽曲の気分に合わせて表現	拍の流れやフレーズに気を付けた表現	「たん」と「うん」によるリズム表現と、4拍のリズムづくり	反復するリズム感を感じ取った表現	楽曲に合った表現の工夫	楽曲の気分にあった表現の工夫

3 本時の指導

- (1) 目標 呼びかけとこたえ、速度、リズム、フレーズを感じ取る
- (2) 準備 CD、音楽デッキ、投影機、プロジェクター、テニスボール
- (3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

本単元では、音楽を聴いて身体表現をしたり、物の名前のリズムを考えて絵譜や図形楽譜に表したりすることによって、速度、リズム、フレーズを感じ取ることができるようにする。また、ゲームを通して、自然に呼びかけと答えができるようにする。

(4) 指導過程

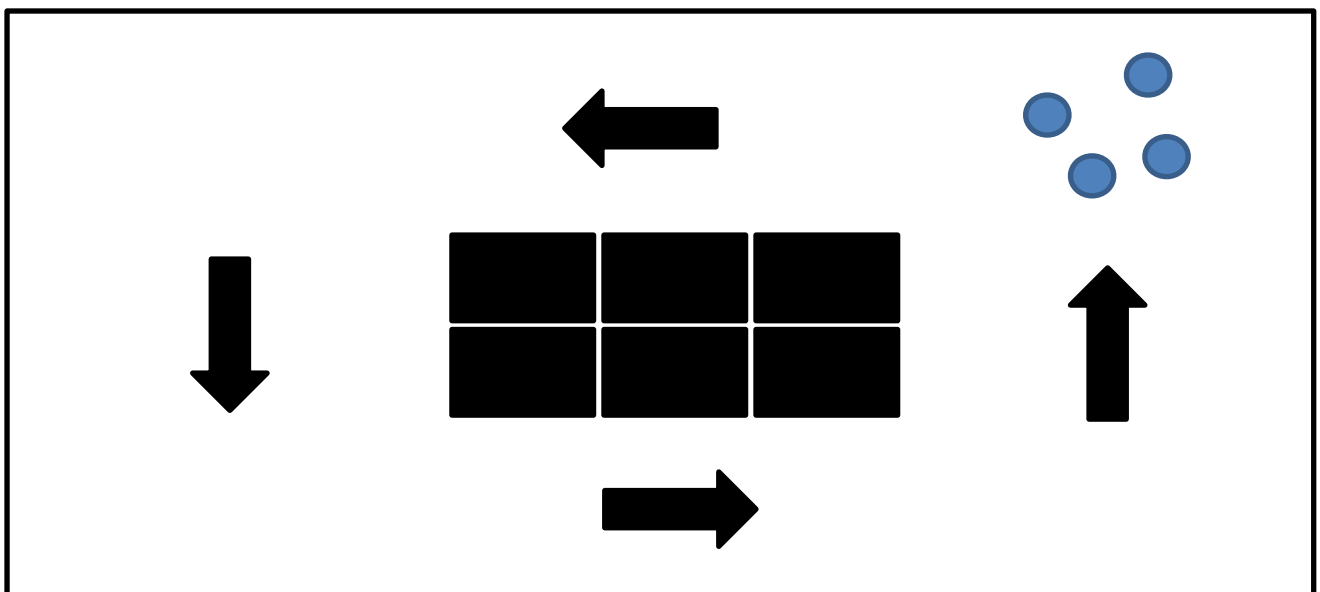
時間配分	学習活動	指導上の留意点

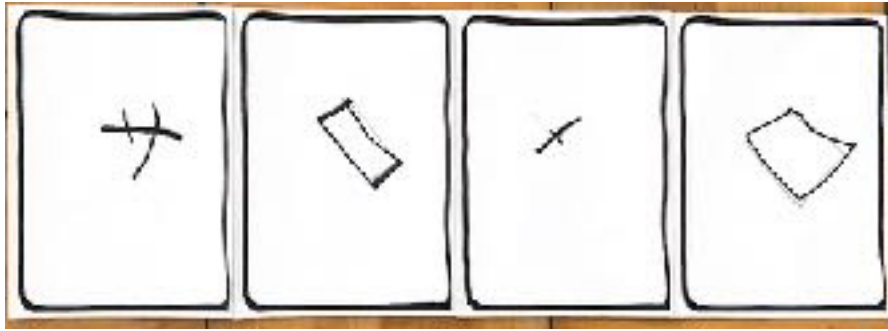
3分	1 本時の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を児童に伝える。 ○ 4つのチャンクに分ける。 ○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。
3分	2 かくれんぼ (呼びかけとこたえ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の内容をプロジェクターで映す ○ 鬼をやる児童を決める。(A児と他2名) ○ 鬼は自分の決めたリズムや音色で「もういいかい」を表現する。
	3 きょくにあわせてからだをうごかそう (速度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見つかった児童は席に戻る。 ○ 速度を比較する2曲を伝える。<small>道化師のギャロップ サンダーバード</small> ○ 曲に合わせて体を動かす。
	4 「たん」と「うん」でリズムをつくろう (リズム)	<ul style="list-style-type: none"> ○ どちらが速くて、どちらがゆっくりか意思表示する。 ○ もう一度、曲に合わせて体を動かし、確認する。 ○ 物の名前で、4拍のリズムを作る。
	5 につぼんのうた みんなの歌「うみ」 (フレーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの物でリズムを作りたいか、選ぶ。 ○ 4拍を表す画用紙に記入する ○ リズムを発表する ○ 曲を歌う。 ○ 曲に合わせて、片手に持ったテニスボールを左右に動かす。 ○ 息継ぎをするタイミングで、左右に動かしている片手を折り返す。 ○ 前後左右の友達と一つのテニスボールを持ち、友達のタイミングに合わせて、左右に動かす。 ○ 全員円形になって座り、代表がテニスボールを持ち、自分の息継ぎのタイミングで隣の友達に渡す。

<場の設定>

● ……児童の位置

【曲に合わせて体を動かそう】



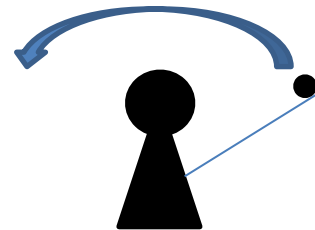
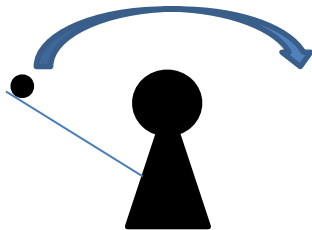


- ・机を中央に集める
- ・一方通行にする
- ・友達のを触らないように促す

【「たん」と「うん」でリズムをつくらう】

- ・ 8つ切り画用紙を半分に切った□を1拍とする。
- ・ 休符は□の中に◇を書いて表す。
- ・ 言葉の割り振りは自由
- ・ □の中にサメと入れてきてもアリとする（後に8分音符につなげる）

【にっぽんのうた みんなのうた】



- ・ 図のように、テニスボールを左右に大きく振る。
- ・ 児童が小さい動きをしても受け入れる。